

第5回 建設・産業小委員会（議事概要）

日 時 平成14年8月6日（火） PM1:30~PM4:30

場 所 アミティ丹後（網野町）

出席数 14人

傍聴者数 2人

主な議題

- （1）協議第1号 19-24 建設関係事業の取扱い（その3）
- （2）協議第2号 19-28 農林水産事業の取扱い（その3）
- （3）協議第3号 19-29 商工観光事業の取扱い（その3）
- （4）その他（合併に係る自由発言）
- （5）次回の議題について
- （6）次回の小委員会の予定

議事経緯

委員長あいさつ

会議成立確認

議事

- （1）協議第1号 19-24 建設関係事業の取扱い（その3）・・・
確認（ただし、9.道路除雪については調整結果を修正し再度協議）

主な意見

委員 峰山町では河川の除草に対し作業主体の区に助成をしているが、峰山町のみということで調整方針では「峰山町の制度は一旦廃止して」となっているが、各地区とも助成にウエイトをおいて取り組んでいるので、廃止というのは無くしていただきたい。

部会長 他町では自主的にやっておられるので、峰山町だけ助成制度を残すのはどうか。弥栄町、久美浜町ではボランティアで地域が自主管理を行っている。各町の実情を調査し、どの河川を助成し、どの河川を区にお願いするかということの新市で検討するため、一旦廃止という調整結果となっている。

委員 除雪体制について、調整結果に「除雪路線を減少させることなく」「追加することも検討」とあるが、新市になると今までのように職員が除雪に出ることは難しいと思うが、全て業者委託とするのか。

部会長 除雪路線については、集落内の除雪要望が高まっているので追加をしていく。しかし、新市になれば支所を置くかどうか、またその支所に配置される職員の関係や通勤距離が長くなることなどを考え、すべて職員でやるのは難しいと考えるので、業者委託を中心に考えていきたい。

委員 弥栄町だけは、町の職員だけで立派な除雪をやっていると聞いているが、私の町では出来上がりが非常に悪い。しかし、職員だけでやるのはコストが高いのではないかと思っている。従って、調整結果には「業者委託」ということを具体的に

上げておいた方がよいと思う。

部会長 業者でもオペレーターによって差があると思う。また、最近下水道整備によるマンホールが道路から突出して、非常に危険な状態になっている。

委員 この調整結果では、統一が図られていない。住民にとって非常関心が高いと思うが、新市になり、民間委託にしたから除雪が悪いという結果にならないよう、オペレーターの体制をとることを考えた上で「業者委託」と明記した方がよい。

部会長 原則として「業者委託」と考えているが、業者のオペレーターの数を把握しておらず、路線を減少させられないということから一部職員の配置も止むを得ないと考える。

委員長 道路除雪に関しては、委員の意見を踏まえ、次回調整結果を修正の上、提出されたい。

委員 公共事業再評価について、峰山、大宮、弥栄町にはその組織があるのか。また、住宅マスタープランとは具体的にどのようなことが行われるのか。

部会長 公共事業再評価については、今まで対象事業がなく、町で委員会を開いたことはない。住宅マスタープランは民間も含めた総合的な計画であるが、実際は民間業者のこともあるので計画通りに進んでいない。

委員 竹野川の下流に当たる丹後町では、上流より多量の草等が流れてくるが、河川環境整備のこの調整結果で防げるのか。

部会長 下流に流すことはあってはならないこと。しかし、河川の除草作業などは、大きな河川の場合刈った草をその場で持って出るのは非常に困難。今後そういったものの除却を検討していかねばならない。

(2) 協議第2号 19-28 農林水産事業の取扱い(その3)・・・確認

主な意見

委員 造林事業の中で、大宮町の場合個人にも助成しているのか。また町行造林などの財産は新市に引き継ぐのか。

部会長 大宮町の場合、10アール以上300本の苗木補助ということで事業は伴わないものである。いずれにしても、各町の制度がまちまちであり、統一したい。また財産の問題は、今後他の部会と調整する。

(3) 協議第3号 19-29 商工観光事業の取扱い(その3)・・・確認

委員会意見：人材育成や中小企業の研究開発に係る支援体制等、新しい市の産業活性化を図る施策の充実を検討されたい。

主な議題

委員 後継者等育成事業の調整結果にある「新たな制度を検討」とあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。また、少子高齢化と言われる中、この問題は

- きなウエイトを占めると思うので、調整結果に人材育成についても入れてほしい。
- 部会長 住民意識調査の中で、商工業の振興は非常に期待されており、部会では大変重要な問題と位置づけ、それぞれの町の良いところを併せて一つの制度を考えていく。
- 委員 商工振興事業として、各町色々な事業を取り組んでおられ、調整結果として「統合する方向」となっているが、例えば大宮町のやっている「中小企業者グループ等研究開発事業支援補助事業」などは生きてこないのではないか。こういったものは新市になっても是非とも残してほしい。
- 委員 調整する場合、合併により、よりよいサービスが提供できるといった、夢のある調整結果にしてほしい。

(4) その他（合併に係る自由発言）

- 委員 新しいまちを作っていく時は、過去の経験からものを言うのではなく、住民意識調査にもある、次代を担う若者の意見を汲み取ってほしい。中心地は扇の要の網野町が一番ふさわしいと思う。やはり、海を中心にまちづくりをするという事が、これから丹後を発展させる一番大きな力になると考える。名称については、歴史的に考えて久美浜市という名前がよい。
- 委員 方式は対等でもいいが、分散型か一局集中型かというのを早く出していかないと、町民に対して説明できない。分散型とするなら、本庁はどこにあっても構わない。また、意識調査で不安がたくさん出ており、このことを勘案して、どういうまちにするのか案を早く出すべき。市の名称は、アンケートをとったり、投票してもらうなど、住民の関心を高めることが一番大事。さらに、もっと町民に近い料金の問題などを議論出来る場が作って欲しい。
- 委員 方式は対等合併と考え、期日も市の要件を満たす3月31日と3月1日では大差ないと思う。しかし、本来町村合併というのは研究会なり任意の協議会が先行して行われ、行政と議会等が意志の疎通を図った上で法定協議会というのが当然だろうと思うが、6町の場合は違う。合併について議会のみに関与を持たせられるのでは、2年間の協議は大変だと考える。
- 委員 私は名称として「京たんご市」を考えている。また、合併した場合、この町にはこういったところが不足している、こういう施設がないといったことを検討されたい。今、私の町には、500人くらい収容できる多目的ホールを作りたいと願っている。
- 委員 新しいまちの姿が示されるのを待っている。新しい市の誕生に向け、住民の立場に立って、夢や希望や意見を反映させるのが私の役目。しかし、この小委員会がどれくらいのスピードで進んでいるのか正直わからないが、3月1日という合併の期日より、よその例を見ると10月1日という期日の方が良いと考える。住民の皆さんには何故平成16年3月1日に合併するのかという事がわかりにくいと思う。
- 委員 合併の方式、合併の期日について、私は原案に賛成。しかし、合併の決定が議会にあるとはいえ、合併協議会には首長や議会代表も入っており、この場でまとめ

た意見については、新市に反映させようという思いを持って議論いただかないと、協議会の意義がない。各部会で調整したものを協議会で一括審議し、後は議会まかせで良いというのでは、3号委員は何をしに来ているのか分からない。また、新市の事務所の位置や名称を提案されるまでに、新しいまちのビジョンを作るべき。新市の建設計画で、合併したらこういうまちにしますよとの提案を早く出していただかないと、実際の議論は出来ない

委員 どういうまちを皆で作っていくかという事が、やはり一番大事な協議の目的。このことを協議会で十分議論すべき。それぞれの町が合併した事によって良くなっていくような形、今日までになかった新しいまちをつくっていくという意気込みがなければ協議の意味がない。新しいまちをどう作っていくかということに、もっともっと時間を割いていただきたい。

委員 新しいまちの絵が見えてこないの、住民に説明できない。後から出していこうというのでは、住民の関心が盛り上がらない。新たな市を描く中に、我々の夢と希望を描いていける事に一番期待している。今は正念場であり、新市の事務所の位置と名称を早く出されることにより、住民意識も高まってくるのではないか。

委員 合併の方式・期日はこれでよい。鳥取県に合併の視察に行き、そこでは合併を機にまちが大きくなるだけでなく、合併を機にどういったまちづくりをしていくかという事が前面に出ていたように思う。インターネット等を使い、住民の皆さんがどのようなまちづくりを構想・希望されているか、夢を持たれているかということ、合併協議の中に反映させ、また新しいまちづくりの構想の糧にできないか。庁舎の位置は、車に乗れない年代の人も気軽に庁舎に行けるように、北近畿タンゴ鉄道も視野に入れた、アクセス方法を検討願いたい。

委員 この前の合併協議会に一般財政のシミュレーションが出たが、特別会計のシミュレーションも出されたい。この前の住民意識調査に、合併後に検討を要する項目がたくさんあったので、良くしていくためにも委員全員の検討が必要。新市建設計画は、新市建設計画策定小委員会だけでなく、各小委員会ごとにざっくばらんに議論するのが良いと思う。

委員 新市の絵が頭の中に描けるようになってから期日を決めて、それから合併の是非を問うというのがよい。後は名称・事務所の位置は早めに出し、十分討議するのがよい。なかなか住民投票という訳にはいかない。

委員 住民には、何故3月1日に合併しなければならないかなかなか理解できない。

委員 合併するなら市の方がいいというのが世論だろうと思う。そうすると平成16年3月31日までにと決まってくるわけだが、それまでに新しい市の姿が見えないとだめになる。小委員会で検討して早く新しい市の姿を出さないと、意見が盛り込めない。少しでも良くなることが原則で、良い方向の絵を描くことで、町民も新しい市と感ずることができる。

委員 合併は、最後、案件として議会で議決されるが、法定協議会で決まったことを私らが覆す権利があり、私らが最終的に決めると言って威張っておられる議員がいるが、本当に議会の場で住民の意見を反映して、議論を戦わしてもらえるのか。

委員 この合併のやり方は、明治、昭和とあまり変わっていないように思う。同じよう

に委員会等を作り村議会にかけ賛成・反対とやっている。協議会で合併を決めても、最終的に住民に理解を求め苦労されるのは、その時の町長であり、町会議員さんである。

委員 合併問題は、地域エゴのような議論の応酬が必要。第3回協議会の時、基本4項目の内「方式」と「期日」が提案されたが、何故「新市事務所の位置」「名称」という後の2項目を出さなかったのか。こういう項目に、今後エゴらしき発言が出ると思う。そうした発言が出る中で、合併が成功する礎ができていると思っている。

委員 村が明治初年頃にでき、旧村意識が芽生えた。これが、大正から昭和の合併を妨げた。地元エゴ、旧村意識、町民意識というものは、たまたま偶然の組み合わせで生まれたもので、必ずしも絶対性はない。より良いまちを作り上げるためには、多少自分達のエゴを捨ててものを言わないと協議会はまとまっていけない。本音を出すという事も大事だが、もっと大所高所に立ち、根拠のないことにとらわれないことも大事である。

事務局長 今回の合併協議に対し、何か腫れ物にさわっているような気持ちだが、後で町民をだましたと言われぬように協議して行かねばならない。ここはひとつ、6町の首長さんに、世の流れを理解し、本当にふんどしを締めて頑張ってもらわなければならない。

委員 合併協議会の協議の進捗状況は？

委員 各町で今まで行われたマニュアル的な住民説明会でなく、新市建設計画が出来れば合併協議会で住民説明会がしていただけるのか、また各町が説明会をされるのか。

事務局 合併協議会は、あくまで協議をする場。建設計画の中間まとめを基に、各町において責任を持って地域に入って説明会をしていただくということで、理事者の方と協議済みだが、その時期は未定である。現在事務レベルで3ヶ月程度の遅れと考えている。例えば、事務局がどこか決まらなると提案ができない案件などがあるが、決まれば提案の段取り等は出来ているので、3ヶ月という遅れ取り戻すことは可能だと思う。

委員 今日までの丹後の合併は、上からの押し付けではあったけども、強制ではなかったということが自慢になっている。丹後の良さは、住民に十分納得してやってきたという伝統があり、そこも計算に入れておいていただきたい。

(5) 次回の議題について

協定項目の協議について

(6) 次回の小委員会の予定

第6回建設・産業小委員会

日時 9月18日(水)午前9時30分から

場所 久美浜町福祉センター